

教科名	創作	科目名	創作
対象	科目選択者	年次	1.2.3
添削指導(回)	4	面接指導 (単位時間)	4
単位数	2	備考	学校設定科目(選択)
教科書・補助教材等	自作教材		
学習の目的	作品の作成を通じて、創造の歓びを素直に感じ、気づくことから自己発見と自分の感覚を研くことを目指す。		

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサン ・水墨画を書く ・削り絵の作成 ・塗り絵 	身近な対象をスケッチすることや、ペンや鉛筆以外の道具を用いての創作活動を行うことで、新しい発見につなげる。
	5		
	6	自由創作	自らの興味のある分野(絵画・文芸・音楽・造形・動画など)の創作物作成を通して、感性をアウトプットする。
	7	立体造形 <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパークラフト ・卵の殻を利用した貼り絵の作成 	描画とは違う造形感覚を養う。絵の巧拙ではなく、表現力の幅広い取り組みで、感覚を磨く(平面～立体)ことの興味を高める。
	8		
9	自由創作		

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
後期	10	描画 <ul style="list-style-type: none"> ・イラストレーション ・キャラクター 	イラストは取り組みやすく、また視覚効果も大きい。特にキャラクターは我が国ならではの世界観。自身の分身としてモチーフを決めて取り組み、キャラクター市場も知る。
	11		
	12	自由創作	自らの興味のある分野(絵画・文芸・音楽・造形・動画など)の創作物作成を通して、感性をアウトプットする。
	1	物語の創作 <ul style="list-style-type: none"> ・四コマ漫画作成 ・54文字の物語 	オリジナルの物語を作成することにより、創作活動の文学的な側面に触れる。
	2		
	3		
学習上の留意点		「観る」「気づく」といった力を身につけることを目標としたい。同様の内容でも学年によって到達点を変え、創作力を高めることに繋げる。	
評価の観点			評価方法
主体的に学習に取り組む態度		意欲的・主体的に創作活動に取り組み、その喜びを味わい、創造的な表現と鑑賞の能力を身に付けようとしているか。	学習の態度、気づきの表現、作品等を総合的に判断し、5段階で評価する。
思考・判断・表現		教材・その他からの気づきと感性を働かせて自然や造形の高さや美しさを感じ取り、豊かに発想し、創造的に表現を構想・工夫しているか。	
知識・技能		技法訓練の取り組み度 美術作品のよさや美しさを味わい、作者の心情や意図と表現の工夫、実生活や自然との関連などを理解しているか。	